

令和2年度 第52回 照明技術賞

映画部門

優秀照明賞 罪の声

担当 小野 晃 (APEX 支部)

製作 「罪の声」製作委員会

クレーン等を使っの長回し撮影の中、良くまとめている。また暗部の作り方も良く、場面に応じたバランスが素晴らしかった。

審査員照明賞 Fukushima 50

担当 杉本 崇 (関西支部)

製作 「Fukushima 50」製作委員会

スモーク濃度の良さに加えリアルさを追求したライティング技法で、不安・絶望・恐怖をとても良く観客に伝えることが出来ている。

優秀新人賞 きみの瞳が問いかけている

担当 加藤 あやこ (本部)

製作 「きみの瞳が問いかけている」

製作委員会

駐車場管理室でのミックス光ライティングが上品に仕上がっている。また主人公が体を洗うシーンでの逆光がとても美しく、バランスの良い画作りが出来ている。



ドラマ部門

最優秀照明賞 スパイの妻

担当 木村 中哉 (NHK 支部)

制作 NHK エンタープライズ

Incline C&I エンタティメント

とても強い光とローキーな場面でも光がコントロールされている。またサスペンス感のあるシーンでは硬質な光を上手く使うなど、全体において階調が良く計算されている。

優秀照明賞 アメリカに負けなかった男

～バカヤロー総理 吉田 茂～

担当 石田 健司 (本部)

製作 角川大映スタジオ／テレビ東京

オーソドックスな光のなか隔々に気を配ったライティングになっている。特に吉田邸の室内と庭のシーンにおいては絶妙なバランスでとても美しく上質な画に仕上がっている。

審査員特別賞 今際の国のアリス

担当 河津 太郎 小林 仁

制作 ROBOT／NETFLIX

逆光メインの大胆なライティングによってストーリーの緊迫感を表現。そしてドラマを見せるための光のコントロール技術は全般を通してとても完成度の高さを感じた。

優秀新人賞 BS時代劇 明治開化新十郎探偵帖

第2話「死神人力車」

担当 佐藤 璃玖

制作 NHK

コントラストのある柔らかい光、方向性のある光によってドラマを観やすくしている。またサスペンスシーンでは硬い光を使うなど芝居に合ったライティングが出来ている。

CM・VP 部門

最優秀照明賞 nico and ...

2020 SPRING-SUMMER

担当 中須 岳士 (本部)

制作 東北新社/goen°

光の方向性、陰影のバランス、スモークや水の表現が良く計算されている。また光による背景の絶妙な色彩変化には技術の高さが見られた。

審査員特別賞 錦糸町 PARCO/

Cosmetic&Beauty Movie

担当 田中 充 (爽風支部)

制作 ロックンロールジャパン

影を動かすなど遊び心溢れる光に好感が持てた。また商品の特徴を良く表現されたライティングになっていて作品に対する貢献度が高い。

優秀新人賞 Kanebo Brand Concept movie

担当 岩渕 隆斗 (本部)

制作 TYO MONSTER

キーライトの設定が心地よく、暗部への落とし込みも素晴らしい。そして一枚一枚の映像が絵画的で色調や艶感も絶妙でとても美しい。

MV 部門

最優秀照明賞 milet 「Who I am」

担当 高田 紹平

制作 原宿サン・アド

カラーライティングやハレーション効果を上手く使って美しく表現されている。またコントラストの印象を与える最暗部の表現がとても良く見事なライティングです。

総合部門

優秀新人賞 ABU ドラマ「あやとり」

担当 中村 令奈

制作 NHK

内容にあったやさしく柔らかいライティングはドラマを観やすくしている。そして映像に見えるてくる伸び伸びした仕事のやり方には将来が期待できる。

第30回 伊藤幸夫賞

①照明技術に真摯に協力が続けている助手。

坂本 容吾 (バル・エンタープライズ支部)

チームと機材を取りまとめ安全かつ確実な業務は現場の活性推進に貢献している。

第52回「照明まつり」授賞式

照明まつり実行委員長 西野 哲雄

本来ならこの98号で第52回「照明まつり」機材展・授賞式パーティの写真が並ぶはずでした。しかし昨年に続き感染症予防の観点から、今年も延期せざるを得なくなりました。

昨年の第51回「照明まつり」は夏まで延期したものの世の中の状況が良くなり、機材展や懇親パーティはもちろん技術賞授賞式も行いう事が出来ませんでした。そのため受賞者の皆様には盾やメダルを直接贈る事が出来ず、宅配便で送る形になってしまいました。

今年も緊急事態宣言下のため機材展や懇親会は出来ませんが、調布市のご協力のもと一昨年と同じ調布市グリーンホール小ホールにて、調布市のイベント会場感染症対策ガイドラインに基づいて、第52回「照明まつり」授賞式を開催。授賞式会場にて受賞者の方々に盾やメダルそして副賞を贈ることとなりました。

そこで「映像照明」98号には「照明まつり」の写真ではなく受賞作品の選定理由を掲載する事にしました。

受賞者の皆さま、本当におめでとうございます。